

職員による自己評価

A環境面

- ・JA 祭りなど地域のイベントに参加し、交流を深めている。
- ・近隣の公園だけでなく、離れた公園へ行くことでマンネリを防いでいる。

B児童への支援内容

- ・子ども達の自立に繋がるよう、やりたい事に対して情報収集や材料集めなどを一緒に行っている。

C関係機関との連携

- ・自立支援協議会や担当者会議に参加し、情報共有を図っている。
- ・学校送迎時に担任と子どもの些細な変化を共有し、支援方法などを再確認している。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・送迎時や連絡帳で日々の活動内容や行動変化などを共有している。
- ・定期的な面談を行い、支援の希望や悩み相談などの聞き取りを行っている。

E非常対応

- ・定期的に研修会や避難訓練を行い、非常時に慌てず行動できるよう努めている。

保護者による評価

A環境面

- ・その日の子供の様子に合わせてフロアを変えて過ごすことができる。
- ・植物の植え替えや水やりで育む大切さを知ることができる。

B児童への支援内容

- ・支援の希望や相談を個別支援計画に反映されている。
- ・自立に向けた支援を取り組んでいることで、家での手伝いが増えた。

C事業所からの情報発信

- ・SNS で日々の活動の様子が確認できる。
- ・毎月の広報誌や写真で子供が楽しんでいる様子がわかる。

D非常対応

- ・避難用ヘルメットを着用し避難先まで徒歩で移動している。
- ・非常時の避難先や災害ダイヤルの使用方法などの詳しい説明がある。
- ・子どもにもわかりやすく動画を使って危険や避難手順を伝えている。

事業所内での分析

【共通点】

- ・自立に向けた支援を行うことで利用時のみならず、自宅でも行動できるようになっている。
- ・送迎時や連絡帳、面談で保護者の希望や悩みを個別支援計画に反映されていることで、安心や信頼に繋がっている。

【相違点】

- ・保護者参加型のイベントや交流会などを提供できていない。  
→ 事業所内イベントや外出イベントなどを、保護者様に告知し参加を促すことを検討する。

分析・検討してみて…

### 事業所の強み

- ・保護者と密に情報共有や相談を行うことでタイムリー支援が行えている。
- ・ミーティングや研修を定期的に行うことで、支援方法の統一化を図り、改善点を話し合うことができる。

### 事業所の改善点

- ・保護者参加型のイベントを企画し、保護者間の交流の場を作る。
- ・近隣散歩や公園遊びで地域と触れ合う機会を増やしていく。

### 事業所の改善への取り組み

- ・安全面を重視して、安心して過ごすことができる環境を整えていく。
- ・避難訓練時に消防や警察など地域機関との連携を図っていく。
- ・地域のイベントだけでなく、買い物や食事などの活動を取り入れ、地域との触れ合いの機会を増やしていく。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

開所してから2年が経ち、日々の活動の中での気付きなどを話し合うことで、改善点が明確化し、より良い支援に繋がり、環境面でも安全性が向上しました。今後も些細な気付きを大事にし、皆が共有、皆が改善のサイクルを繰り返すことで、安心安全に過ごせる場を提供したいと思います。